

とびとび



No.92

題 字: 村井龍全さん(水墨画家)

イラスト: オバン・ギャグドさん

昭和48年1月13日第三種郵便物承認

HSK通巻番号628号(毎月10日発行)

発行 2024年(令和6年)7月10日

編集人 札幌市中央区南8条西2丁目5-74-402

NPO法人「飛んでけ!車いす」の会

照井レナ 発行番号第92号

電話 011-215-8824 (FAX 共用)

発行人 北海道障害者団体定期刊行物協会 (HSK)

定 価 100円(会員は会費を含む)

目次

- P2 Special Thanks! (寄付御礼)
- P3 届けた車いす国別一覧
- P4-8 車いす 届きました!届きました!
- P9 タイへ飛んだ車いす
- P10 すおすだい
- P11 祝!25周年祝賀会
- P12 掲示板(イベント・お知らせ)

車いすを運んでいただきありがとうございます

旅行者・輸送者：12名

【お詫び】

91号2ページ Special Thanksの「車いすを運んでいただきありがとうございます。」の項に、本来ならば掲載されるべき下記の方々のお名前が掲載されていなかったことが判明いたしました。

旅行者・輸送者：17名

会報編集員一同、再発防止に努めてまいります。このたびは大変申し訳ございませんでした。

車いすのご提供ありがとうございます

寄付者：17名

ご寄付ありがとうございます

- 寄付金

寄付者：38名

- リングプル、アルミ缶ほか

寄付者：14名

- 切手・書き損じ葉書

寄付者：1名

- その他

寄付者：1名

(順不同、2024年2月16日～2024年6月15日)

Wheelchairs delivered to 84 countries

◆アフリカ・欧州地区		◆アジア・太平洋地区		◆南米・中米・北米地区	
① ベラルーシ	11	① アフガニスタン	20	②⑨ シリア	4
② ベナン	17	② バングラデシュ	46	③⑩ フィジー	9
③ ブルキナファソ	24	③ ブータン	1	④⑪ ミクロネシア	12
④ エジプト	2	④ カンボジア	238	⑤⑫ バヌアツ	6
⑤ ガーナ	17	⑤ 中国	67	⑥⑬ 東ティモール	3
⑥ ケニア	27	⑥ インド	24	⑦⑭ ソロモン諸島	10
⑦ レバノン	1	⑦ インドネシア	131	⑧⑮ サモア	4
⑧ マラウイ	24	⑧ イラク	5	⑨⑯ 台湾	10
⑨ モーリタニア	2	⑨ ヨルダン	6	⑩⑰ パラオ	5
⑩ モロッコ	11	⑩ 韓国	40	⑪⑱ トルクメニスタン	1
⑪ モザンビーク	1	⑪ キルギス	11	◆南米・中米・北米地区	
⑫ ナミビア	1	⑫ ラオス	32	① アルゼンチン	16
⑬ ルーマニア	8	⑬ マレーシア	116	② ボリビア	4
⑭ セネガル	1	⑭ モンゴル	32	③ ブラジル	16
⑮ 南アフリカ	6	⑮ ミャンマー	53	④ キューバ	24
⑯ タンザニア	16	⑯ ネパール	144	⑤ ドミニカ	5
⑰ チュニジア	6	⑰ パキスタン	50	⑥ エルサルバドル	57
⑱ ウガンダ	3	⑱ パプアニューギニア	31	⑦ ホンジュラス	12
⑲ ザンビア	25	⑲ フィリピン	250	⑧ ジャマイカ	9
⑳ ジンバブエ	3	⑳ ロシア	10	⑨ ニカラグア	31
㉑ ナイジェリア	21	㉑ サイパン	2	⑩ ペルー	14
㉒ エチオピア	5	㉒ シンガポール	25	⑪ セントルシア	1
㉓ ルワンダ	4	㉓ スリランカ	80	⑫ ウルグアイ	14
㉔ カメルーン	5	㉔ タジキスタン	3	⑬ パラグアイ	8
㉕ ガボン	6	㉕ タイ	454	⑭ コスタリカ	8
㉖ マダガスカル	10	㉖ トルコ	3	⑮ チリ	4
㉗ ウクライナ	100	㉗ ウズベキスタン	46	⑯ カナダ	2
◆日本(国内リサイクル)	182	㉘ ベトナム	628	⑰ メキシコ	2
				⑱ エクアドル	32

2024年6月15日現在（網掛け部分は2024年2月16日以降の増加分）

※2020年8月から集計頻度に変更になりました。

これに伴いホームページの台数情報と若干異なる場合がございます。

車いす 届けました！ 届きました！

ベトナムとタイに向け、複数台の車いすを届けていただくことができました！ベトナムに向けては障がい者、高齢者を対象とした共同住宅や外国人労働者向け住宅管理・運営、そのほかさまざまな福祉サービス事業、ベトナムなどとの貿易事業なども行っている札幌市厚別区の(株)シーポーと様、早稲田大学古山ゼミの学生の皆様に、そしてタイに向けては宮古昌様とお仲間の皆様に、ご旅行に併せて車いすを運んでいただくことができました。

ベトナム



チュオン・ゴク・ハウさん

ハウさんは66歳の女性。1歳の時にポリオウイルスに感染し、現在も麻痺が残っています。もともと4人家族でしたが現在は一人暮らしで、ヘルパーのサポートを受けています。車いすを届けると大変喜んでいただき、親切にお菓子などを振舞っていただきました。

車いすのおかげで移動が楽になり、生活の幅が広がることをランさんは楽しみにしていました。

チャン・コック・ヒエップさん

38歳の男性です。1歳の時に日本脳炎ウイルスに感染し、運動機能障害となりました。お姉さんと共に生活しており、ヘルパーのサポートも受けながら生活しています。毎月ベトナム政府から100万ドンの助成金が支給されますが、それでは足りないため、お店でレジスタッフとして働いています。





チュオン・ミン・ホックさん

67歳男性。1984年に田んぼでの作業中、ベトナム戦争の不発弾を掘り当ててしまい、被爆により足に重傷を負いました。12歳の息子さんと一緒に暮らしています。

ご親戚がフエのホテルに車いすを取りに来てくださいました。ご本人には会えませんでした。後日車いすに乗った写真を送っていただきました。

ダン・ティ・ニュオンさん

67歳女性。18年前にご主人と乗っていたバスがダンプと衝突し、右足先端を切断しました。右足に麻痺が残っており歩行が不自由。ご主人はその事故により他界されたそうです。

受け渡しの際はダン・ティ・イエンさんのお宅へ来てくれており、イエンさんと一緒にお渡しすることができました。言葉は通じなくても、とても喜んでいただいているのが伝わりました。



チャン・ザイン・クアンさん

71歳男性。ベトナム戦争で負傷し麻痺が残っています。右足はまったく動かすことができません。

電器製品を扱うお店を営み、現在は娘さんが経営を引き継いでいるそうです。終始笑顔で出迎えてくださり、車いすをお渡ししたあとには私たち全員と握手してくださいました。とても喜んでいただいているのが伝わりました。



グエン・ハイ・イエンさん

46歳女性。18歳の時に交通事故で右足を切断しました。大学で英語教師を務める傍ら、ドンチュウにて障がい者クラブの代表として、クアンニン省で生活する障がい者に寄り添い精力的に活動をされています。



ダン・ティ・イエンさん

65歳女性。30年前に交通事故で右足を切断、左足も麻痺があり、歩行が困難な状態でした。車いすはご自宅でお渡ししました。言葉は通じなくても、とても喜ばれているのが伝わりました。大人数で訪問したにもかかわらず、バナナを振舞って下さいました。ご主人が私たち全員と硬く握手をして感謝を伝えてくれました。



タン・ティ・フオン・タオさん

18歳女性。脳性麻痺、肢体不自由、てんかんがあります。車いすを届けたときは常に笑顔で楽しそうな様子で、とても癒されました。当日は髪の毛をカットしたばかりでした。髪を切りに行くことができず、自宅に訪問してもらっていたが、これからは車いすを押して髪の毛を切りに行けると喜んでいました。



《株式会社しーぽーと チュオン・ゴク・ハウさん》

ベトナムは母国ですが、今回の経験で現地を車いすと共に移動する大変さを実感できたため、必要とする皆さんに車いすを届けられたことをとても嬉しく感じています。

今回お手伝いさせていただき、ベトナムには困っている人々が、まだたくさんいることを知ることができました。ベトナム人として日本の組織に対する感謝の気持ちでいっぱいです。大学の入学式に日本語を選択し、日本とベトナムの架け橋としての仕事を選んだことは間違いなかったと思っています。

ベトナムに運んでいただいた皆さんのご感想

《早稲田大学 古山ゼミの皆さん》

このプロジェクトに参加することで、人によって車いすのニーズが大きく異なっていることや、身体、ニーズにあった車いすを活用することで生活のハードルが下がることを実感できました。

車いすを受け取った皆さんの素敵な笑顔が忘れられません。中には涙を流しておられる方もいて、車いすが彼らの生活を大きく支え、変えてくれると希望をもっておられることを肌で感じました。このプロジェクトが車いすを必要とする方々にとって非常に重要なものであり、多くの方の善意や準備によって成り立っていることがわかりました。

運搬する中で、私たちの車いすへの配慮が足りていなかった部分も感じ、運搬する前段階から、このプロジェクトの意義や注意点などを事前に共有できると、より運搬ボランティアとしての意識を高められるのではないかと感じました。

また、1つの車いすを届けるためには、車いすを提供する人、整備する人、ヒアリングを行う人など、とても多くの人に関わっていることを知りました。ベトナムへ運搬する当初はこのことを理解しておらず、後に空港での運び方を指摘された際に気づきました。事前に運び方の注意点を確認できていたら、スムーズに運搬できたと思いました。

実際に当事者の方に直接渡す活動を通して、この活動の尊さや意味を知ることができました。貴重な体験をさせていただき、ありがとうございました。

タイ

カンスワンさん



サラエさん



マンセさん



使用者の一人であるマセングさんと、障害者団体の関係者3名が受け取りに来てくださり、ホテルのロビーで3台の車いすをお渡ししました。

この3台の車いすは、同居していた私の兄が15年間使用していた、とても思い出深いものでした。国内で処分するとなると、「もの」としてどなたかのもとへ行くとしても、「こころ」は行かないと思い、「飛んでけ! 車いす」の会にお願いをして、実現したものです。このような事例(提供者と届ける人が同じ)は、あまりないかと思います。

マセングさんや団体の方たちは快く受け取ってくれ

ましたが、その姿を見て、私たちも心の整理を付けることができ、感謝の思いでいっぱいになりました。

車いすの届け先を探してくださったり、整備をしてくださったりした「飛んでけ! 車いす」の会の皆様、ありがとうございました。感謝いたします。

(宮古 昌さん)



タイへ飛んだ車いす



老若男女4人が6台の車いすをタイに運びました。

今回は千歳空港からバンコクの空港まで運び、タイのボランティアの方々に手渡すチームと障害を抱えた方が住んでいるウドンタニに出向き、直接車いすを譲渡するチームの連携によるものでした。

「とんでけ！車いす」の会では運んだ車いすを3つの方法で車いすを必要とされている方々に譲渡しています。

1. 空港でご本人または代理の方に渡す。
2. 旅行者のホテルでご本人または代理人の方に渡す。
3. 旅行者が車いすで希望のご本人がお住いのところまで運び直接譲渡する。

今回は3つの方法のどれかではなく、いくつかの方法を組み合わせた関係プレーでした。今後も譲渡方法については、旅行者、対応するボランティアの方々、車いすを必要とされている方々など、それぞれの状況に応じて決めていけたらと思います。

➤ 車いす使用学習会の開催

ウドンタニでは障がい者支援センター（Udonthani Disabled Unity Association）で学習会を開催しました。学習内容は、体のサイズの正しい測り方と車いすの上手な使い方の2点でした。体のサイズは1人1人の体にフィットした車いすを選択するうえでとても大事な要素です。体の幅を測る際、体の丸みまで入れてしまうと実際の体幅より大きな車いすになってしまい、タイ



ヤの操作が難しくなります。整備班のご協力によりサイズを計るための用具（木製ノギス）を作っていただき、それを示しながらお話しさせていただきました。皆さんうなずきながら納得されていました。

ウドンタニは思った以上に道路事情が悪く、車いすの前輪キャスターがすぐ壊れたり、ねじが取れたりすると訴えていました。悪路や段差のあるところでの車いす操作を実演で説明しました。ボランティアの方々からも「知らなかった」との声でした。車いすのパンクや故障が多いという声も多かったことから今後対応を考えていかなければならないと思いました。今後に向けての要望をお聞きしたり、質問にお答えするなど、可能であれば他の国においても必要な学習会だと思いました。

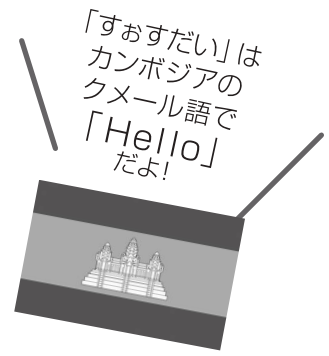
➤ 車いす販売

バンコクからウドンタニに移動途中、ナコンラチャシーマというところに泊まりました。ショッピングモールに買い物に行くと、な、なんと車いすが売られていました。値段や車いすの状態など詳しく聞くことはしませんでしたので反省ですが、普通のお店に車いすが売られているというだけで驚きでした。

（報告：タイコーディネーター 大塚千枝子さん）

すおすだい カンボジア

< JICA 事業報告 >



スオスダイ！

JICA 草の根技術協力事業担当の上杉です。今回もカンボジア事業について紹介します！

カンボジアのシェムリアップで第5回車いす整備講習を開催



2月下旬に開催されたカンボジアの首都プノンペンの車いす整備講習に引き続き、3月には北部にあるシェムリアップで第5回車いす整備講習を開催しました！

シェムリアップでは、国内の障がい者の就労支援を行っている Essential Personnel Cambodia (以下、EPC) との共催での開催です。会場はシェムリアップ州社会福祉局のご厚意により、州立のリハビリセンターの会議室を借りて行うことができました。

シェムリアップでの開催は、スケジュールの都合上1日だけの開催となりましたが、EPCの支援を受けている車いすユーザーとその家族、EPCのスタッフを含めて16名が参加してくれました。シェムリアップではこのようなワークショップは珍しいようで、参加者の中には片道数時間かけて来た方もいらっしゃいました。

EPCの代表によると、シェムリアップはアンコール・ワットのある一大観光地で、大きな街ですが、農村部での障がい者へのサポートは不十分な状況だと言います。

また、シェムリアップ州社会福祉局の方は、海外のNGOによるこのような活動はとても珍しく、シェムリアップに必要な活動だと話していました。地方での障がい者支援の重要性を感じた活動でもありました。

総会で活動報告会

5月11日に実施された総会后に、第4回、第5回ワークショップの報告会を実施いたしました。

カンボジア現地での活動としては最後の渡航となった2回のワークショップについて、報告をさせていただきました。ご参加いただいたみなさま、誠にありがとうございました。

カンボジア事業の最終報告会

7月13日(土)にこのカンボジア事業の最終報告会がプラザ星園で開催されました。(本原稿執筆日は6月25日)。

次回は「すおすだい」は、最終報告会の様子と、本事業のまとめについてお伝えして最終回とさせていただきます。それでは、チュオップ・クニア・パール・クラオイ!(また今度!)

こちらのQRコードからカンボジア事業についての情報を公開しているウェブサイトを見ることができます。



盛会！ 25周年記念祝賀会

25周年ロゴをデザインいただいた相馬契太さんのスピーチなどの催し物がありました。



5/11(土)、今年度通常総会終了後の夜、メルキュール札幌 ボルドーレストランにて、とんでけ！車いすの25周年記念祝賀会を開催いたしました。

これまで、そして現在、当会に関わり支えてきていただいた方々が、ご多忙の合間を縫ってこの祝賀会にご参加くださり、昔話に花を咲かせました。

長年に渡り、リーダーとして当会を支えてくださった吉田三千代さんには「飛賞(ひしょう)」、車いす引取りのボランティアとしてご尽力いた

いた辻邦夫さんには「飛車賞(ひしゃしょう)」と、これまでの感謝の意を込めて特別な表彰をさせていただきました。

またお二方には賞状として、この会報の“とべとべ”の題字をかいてくださった村井龍全さんの絵画を進呈させていただきました。

25年間、とんでけ！車いすの会は年齢、性別、障がい有無、国籍の垣根を越えて、本当に多くの方々に支えられながら活動を続けてくることができました。皆様からのご協力無しに25年の活動を継続してくることは不可能でした。心より感謝申し上げます。

今後も当会では、発足当時から変わらぬ「手から手へ、誰でもできる国際貢献」をモットーに、今後30年、35年と、顔の見える国際交流を継続していく所存です。変わらぬご支援をどうぞよろしくお願いいたします。



「飛んでけ」サポーターのご案内

●会員になる

- ・あなたの会費で世界中の障がい児・者に車いすが届きます。
- ・年3回会報を送ります。
- ・メールマガジンでイベント案内などが入手できます。
- ・車いすを無料で借りることができます。

■正会員	一般	5000円/年
	学生	1000円/年
■賛助会員	一般	2000円/年
	団体	5000円/年

●車いすを提供する

「家に使っていない車いすがある」「職場や知り合いが車いすを処分する」等の情報があればご連絡ください。無料で引き取ります。

●車いすを届ける

途上国に旅行する方で、車いすを直接届ける体験をしてみたい方はご協力ください。

●物品で支援する

リングブル・書き損じはがき・未使用切手・海外土産品・商品券(QUOカード等)・中古DVD/CDも集めています。

●寄付をする・会費を振り込む

【郵便振替口座】記号番号 02780-6-2973 【ゆうちょ銀行口座間振込】記号 19070 番号 5406461
【北洋銀行】札幌駅南口支店 普通 4117153 【ウェブ決済システム・Syncable】※詳細は事務局へ

掲 示 板

イベントなど

- ▼お盆休み 8月10日(土)～8月16日(金)
- ▼北海道ベトナムフェスティバル展示
と き：8月10日(土)・11日(日)
と ころ：札幌市北3条広場[アカプラ(赤レンガ庁舎前)](札幌市中央区北2条西4丁目及び北3条西4丁目)
- ▼環境広場ほっかいどう2024 車いす整備体験ブース
と き：8月24日(土)・25日(日) 10:00～16:00
と ころ：札幌ドーム(札幌市豊平区羊ヶ丘1) ※「環境広場ほっかいどう2024」は、「環境広場さっぽろ2024」の間違いです。訂正してお詫びいたします。

お知らせ

- ▼車いすの学校 受講生募集中
毎月第2・第4土曜日 13:30～
基本的な車いす整備技術を伝授します。およそ5回の受講で修了証を授与いたします。
- ボランティア募集中
コーディネーター(英語でメールのやりとりができる方)、車いす整備ボラ、会報編集ボラ、事務作業ボラ

※問い合わせは事務局(照井・小林)までメールまたは電話・FAXをお願いします。
※営業日：火曜日と第5を除く土曜日の午後

- Web版会報
会の活動を広く知っていただくため、会報「とべとべ」をホームページで公開しています。
下記のアドレスをクリックし、表紙画像を再度クリックするとPDF版がダウンロード可能です。
<https://tondeke.org/tobetbeforweb/>



またこちらのQRコードからでもアクセスできます。

「飛んでけ! 車いす」の会 事務局(担当: 照井・小林)
(事務局は基本的に火曜日と第5を除く土曜日の午後のみ開設)
電話/FAX 011-215-8824
メール: tondeke@bz01.plala.or.jp

